

令和6年度 第1回武蔵野市産業振興審議会 要録

【審議会概要】

日 時	令和6年6月3日（月）14：00～16：30
場 所	武蔵野市役所 813会議室
出席委員	福田敦会長、小田宏信副会長、高橋勇委員、榎本一宏委員、坂井健司委員、田中栄子委員、田川良太委員
事務局	小池産業振興課長兼経済対策調整担当課長、庄司課長補佐、北村まちの魅力向上担当係長、助川主任、藤木主任、須藤主任
審議会次第	1 開会 2 議題 (1) 報告事項 ア 第二期産業振興計画進捗管理状況（令和5年度分） イ 第三期武蔵野市産業振興計画の広報について (2) 協議事項 ア 第三期武蔵野市産業振興計画の管理及び評価手法について イ 令和6年度における各施策の取組内容・達成指標について (3) その他 3 閉会
配布資料	次第 資料1 第二期産業振興計画の進行管理表（令和5年度分） 資料2 市報むさしの 4月15日号12面 資料3 第三期武蔵野市産業振興計画の管理・評価の概念整理図 資料4 第三期武蔵野市産業振興計画管理・評価シート（案） 資料5 今後のスケジュール（令和6年度）

【議事】

1 開会

・配付資料の確認

2 議題

(1) 報告事項

ア 資料1について事務局より説明

会 長	資料1の進捗状況の1期～4期とあるのは、四半期ごとに評価しているということか。ほとんど全ての施策が四半期とも同じ評価だと思う。委員のみなさまから何かご質問等あるか。
事務局	計画について、四半期ごとでご認識のとおりである。
坂井委員	第二期の評価を見させていただいたが、総論の評価は口頭だけではなく、文章でも示して欲しい。第二期の中で△・□の評価だったものは三期の計画の中に盛り込まれているのか。
事務局	数にしてきちんと示していきたい。第三期の計画の策定にあたっては各課へのヒアリングを行ってきた。△□部分の洗い出しも行い、反映は行った。
田中委員	進捗ありということは完了していないということだと思うのだが、第三期に同じように引き継がれているのか。
事務局	第三期の中で「継続」というフラグをたてているものがあるのでそこで反映させている。
高橋委員	経営者として、この評価の仕方は目標が数値化・明確化されていないと感じた。進捗があるといっても成果がなければやっていないのと同じことである。市民にとっても取り組みが明確化されていないといけないと思う。どのような成果があったのかを示す必要がある。そのようなことを通してこのような会議に出席する意味があると思う。

事務局	この○×△の評価では見えにくい、伝わりずらいとの認識はこちら側もある。したがって第三期の評価方法について、後ほどご議論していただきたい。第三期の進捗管理については、評価指標も具体的に示し、改善を図った。
会長	資料1については、事前打ち合わせ時はそこまで事務局と話をしなかった。これから説明する第三期の評価シートについては色々話をした。目標管理の観点からいって、内部的な指標である。市民目線・事業者目線でいうと分かりにくい。数字で全て把握できる目標管理であればいいのだが。事業ごとの管理表にならざるを得なかったのかなと思う。計画の進捗状況の管理としてこれで本当によいのかという議論はあるかと思う。

イ 資料2について事務局より説明

高橋委員	市議会議員の方は見ているのか。どの程度まで理解しているのだろうか。これを推進していくのが市議会議員の役目だと思うのだが。
田川委員	進捗管理表については議員には示していない。市報についてはもちろん市議会議員の皆さまも市民と同じように見ていると思う。しかし、理解の状況は不明である。
高橋委員	普段の市議会議員の方々の議論の中でこのような計画の話題になっていないのではないか。市議会議員にも理解して欲しい。計画の内容と市議会議員の行動が一致していないことが気になる。
坂井委員	このような計画が出来上がったことを、商店会長などに知ってもらうことも必要だと思う。この出来上がった計画をいかに市民・事業者に分かりやすく理解してもらえかが大事だと思う。作って終わりではなく、今年1年間で団体に理解してもらう活動も必要かと思う。
事務局	各団体に関係する部分について周知するなど、今年度はPRもしていきたい。
高橋委員	会議所だけでも関連するものが21項目もある。市が商店会の会長や役員の方に説明することで、現場の人が主体的に動くことができると、この計画が意義あるものになると思う。
田中委員	この評価シートを最初に見た時に、これは誰が評価するものなのかと思った。市民や事業者目線での評価がどうやったらこの中に入れることができるのか。主役はあなたですと言われているのに、評価は誰が行っているの？という記載が抜けてしまっているのではないかと思う。
田川委員	第二期の進捗管理の状況については、昨年も同じような内容で報告させていただいた。委員のみなさんから出てきた内容を集約したものが評価となる。第三期は皆様から色々ご意見をいただいて作り上げてきたこともあり、これから説明させていただきたい。第二期の評価については一旦この形でお願いしたい。
会長	今は報告事項であり、確認していただいたということで、色々意見はあると思うが、次の第三期の進捗管理の方でいただきたい。

(2) 審議事項

ア 資料3、4について事務局より説明

小田委員	施策9の認定創業支援施設について知りたい。また、ローカルスタートアップ10000については、これは国の事業か。この言い方で合っているのか。都の方でも、創業支援に力を入れていると思う。都との連携について知りたい。
事務局	インキュベーション施設については市内にいくつかある。各施設と市の関わり合いについても、今後調整を図っていききたいと考えている。現在9施設を認定している。 ローカル10000の表記については確認をさせていただきたい。都内の事例は町田市しかなかったと思う。都内での運用が見られない中、地域課題を解決するためのスタートアップ企業との連携方法について考えていきたい。どのように進めていくのか、産業振興課だけでなく全庁的に調整していきたい。 吉祥寺には創の実という都のチャレンジショップがある。そのような施設との連携について、今後課題になってくると考えている。創業者への支援・補助金についての情報提供は、市でも行っている。
高橋委員	20項目について、拝聴したが、素晴らしい。方針はできたので、今後これをどのような形で具現化していくのが大切である。攻めと守りが大切。関東も地震がい

	<p>つ起こってもおかしくない状況。電柱の地中化など安心のための守りの施策も行って欲しい。空き店舗問題について、サンロードやダイヤ街ですら空き店舗がある。具体的に数値化してもらえるとありがたい。そのような問題を把握しておいてもらいたい。</p> <p>また、子ども食堂でご飯を食べている人数はどのくらいだと思うか。私の会社で子ども食堂をやったことがあるが、40 家族来た。武蔵野といえども、厳しい状況の人がいるのだなと感じる。</p> <p>経営基盤について、これはまさに商工会議所の事業である。昨年度は 2,100 件の経営相談を受けた。今年度は 3,000 件を目指している。</p> <p>成蹊大学はスタートアップ、学生たちの情報交換の場をきちんと設けていると思う。武蔵野大学にも同じような場がある。市内の大学生たちを集めて情報交換ができる場があると素晴らしい。</p> <p>農業関係では、今、農地面積がどんどん減っている。農業の問題は災害時の避難場所にも関わる問題でもある。農地の減少は非常に大きな問題であると思っている。</p> <p>転倒防止家具が何世帯くらいあるのかなども数値化してもらいたい。20 項目是非協力して進めてもらいたい。</p>
事務局	<p>地震、安全安心などについても関係部署とは密に相談していききたい。年度末の段階でどの程度進んだのかは数値化してお示しできるようにしたい。</p> <p>空き店舗も出店支援金で市内か市外かで出店地域を悩んでいる人の一押しになるとよいと思っている。また、今年度から新たな事業としてまちとわたしとあなたプロジェクトという事業を開始する。多様な世代の方に入っていただき、新たな事業のきっかけになればよいなと思っている。</p>
高橋委員	<p>情報をしっかりと流しているから、子ども食堂は民間でも多くの子育て世代の方がくる。公共施設でやればもっと多くの人が来ると思う。</p>
榎本委員	<p>計画は、市民全員が手に取れる場にあるのか。計画に記載されている事項を実現するためにはお金がかかると思う。都の予算と市の予算の制度の取扱いについては注意しながら、優先順位をつけて予算確保していく必要があると思う。また、コラボむさしのは一昨年は非常に盛り上がったが、現在は落ち着いてしまった。あの盛り上がり継続するためにももう少し進捗管理内での文言を増やして欲しい。</p>
事務局	<p>計画の説明についてはしっかりと行っていききたい。予算確保についても、しっかりと動いていききたい。コラボについては一昨年、昨年と実施してきた。今年度は新たな認定制度として、市・会議所が支援することを考えている。今までにコラボ商品は 80 商品生まれている。様々なイベントでは一部キッチンカーに出てもらっており、引き続き支援していききたい。</p>
坂井委員	<p>この評価シート、進捗管理シートが何のためにあるのかをまず確認したい。市の内部的な評価としてのシートとしての考えで良いのか。事前にこの評価シートが商連に送られてきたが、商連もこのシートで評価するのか。</p>
事務局	<p>今回のシートは第三期から初めて行うものである。将来的には、商連や会議所などのタスクもそこに入れた上で、同時に自己評価も記入していただきたいと思っている。庁内においてもこのシートの在り方については議論され、まずは全て産業振興課目線で記載をしている。今年度これで進めてみて、このシートが定着した後は各団体が主体となった記載が生まれてくるといいと思っている。</p>
坂井委員	<p>まずはこのシートはたたき台ということでよいか。</p>
事務局	<p>そうである。</p>
坂井委員	<p>例えば市内の商店会等が行うイベントについて、市が評価するものと、実施団体が行う評価は違うと思う。今年度 1 年間をかけてシートをつくっていくのは良いと思う。</p> <p>施策 8 の達成の目標値について、達成指標の中に事例収集とあるが、すでにやっているのですぐ達成してしまう。単年度ごとに評価することは大切だが、長い目線で見ると今やっている事業を例えばどう学生がイベントを手助けしていくかなどの視点も入れられると良い。次のステップも踏まえた管理表かシートを作っていくのが大事である。まずこの計画の広報が大切。年 2 回実施している商店会向けの補助金の説明会で説明できると良い。まず 6 月の説明会で市からこのようなことをやって欲しいと説明してもらい、年度末の説明会で 1 年間どうだったかのアンケートを</p>

	<p>取るのはどうか。商連を通すのではなく、直接市に評価が分かるような取組ができるとよい。</p>
事務局	<p>達成指標については、現状あまり把握できていないということもあり、まずはしっかり今年度調査して整理をしていきたいと思う。この先2年後、3年後も見せていくという書き方もあると思うが、まずは今年度の目標として考えている。</p> <p>各団体への周知については、まず今月の商店会向けの説明会で計画についての説明をさせていただきたい。年度末の評価の仕方についてはよく検討させていただきたい。</p>
会長	<p>事前の打ち合わせでも確認したことだが、シートは内部資料か、内部点検か。大学は毎年自己点検をやっており、7年に1度外部点検をうける。大学の中長期的な計画があれば、年度ごとの計画もある。根拠があるか聞かれたりもする。それに照らすわけではないが、達成指標に色々な指標が書いてある。指標は普通 KPI などの数字的なものである。主体が誰なのかも分かりにくい。目標がちょっと曖昧。達成指標に何を書けばいいのかを整理する必要があると思う。第三期は評価しやすいものを作ろうと言っていた時期もあったが、それを明確に盛り込めていない。具体的に事務局には検討いただきたい。</p>
田中委員	<p>これは一体誰が評価するのだろうかと思った。担当課が多岐に渡っている。この責任者は各担当課にいるのか。もう少し責任者をはっきりとさせて欲しい。</p> <p>周知・広報としてこれはどこまで公開されるものなのか。市役所の中だけで公開し、評価していくものなのか。実際のまちの中での告知広報がない。まちからの情報収集がない。</p> <p>また、この計画の実績がどこにも書いていない。実際にその制度として走っているものがあるのであれば、その進捗・実績が何だったのかという記載がない。責任者・担当課・連絡先と年間の事業スケジュールが分かる資料があってもよいのかなと思った。</p> <p>私は市内事業者代表とあるが、事業者代表としてそれをもってかえって、こうだよと展開する事業者同士の連携が薄いなと思った。どこか連携できるものがあるとよいなと思った。そういうことはできないのかという提言である。</p>
事務局	<p>庁内調整会議は担当課の部課長が出席している。その中で管理・評価の在り方、管理・評価シートの具体的な内容について、しっかり議論を行い、本日お示ししている。あくまでも庁内のため、関係外部団体は入っていない。どのようにそのような団体からの意見を吸い上げるかは課題である。</p> <p>計画の配付場所は市報に記載している。計画の本書を300部、概要版は1000部印刷し、配布している。</p> <p>各事業の年間のスケジュールについては、内部としては各自持っている。公開することが適切かどうかはまた検討していきたい。</p> <p>第三期を策定するにあたり、第二期の進捗管理の方法が○×△の記載だったため、実績の整理が難しかった。そのため、各課へヒアリングを行った。確かにこの計画の中に実績が見えづらいかと思うが、計画の中に溶け込ませた。この計画管理シートの積み上げで見える化をすることによって、次期計画の策定用の資料にもしたいと思っている。計画の管理評価シートについて中間見直しをする予定だが、今日審議会に示したこのシートの「案」を取りたいと思っている。一旦委員の皆さまに認めていただいて進めていきたいと思っている。</p>
田中委員	<p>施策に対してどの目標を掲げているのかを分かりやすくするために、各施策にある①②③と、シート「取組内容」の123を連動させてくれると分かりやすい。</p>
会長	<p>計画の番号と進捗管理の番号が紐づいて分かるようにしてほしい。優先順位が高いものを中心に記載したということだが、優先順位を産業振興課で決めて良いのかどうか。</p>
事務局	<p>庁内調整会議で意見をいただきながら、今年度の各施策の中で重点的に取り組む内容について決めたものであり、今回は拡充・新規のみを記載した。ただし、継続について触れた部分もある。各取組みの記載内容の見せ方についてはおっしゃる通りと考えるため、工夫をしていきたい。</p>
会長	<p>審議会の中ではその優先順位について審議したわけではなかったのではなかったのか。</p>

田川委員	<p>この1年でこの評価を積み上げていくことで、やっぱりここが足りない部分も評価できないことを積み上げて、まずはこの1年間これでやっていくこととさせていただきたい。</p> <p>様々なデータ、評価の基軸になるようなものはないのかということだが、それをこのシートに落とし込むのは難しい。別シートで設けられるとよいと思った。会長が言っていたように、3年に1度しかデータがないもの、そもそもそのようなデータがないものもある。</p> <p>また、国や都の施策をきちんと意識することが大事。国や都とやろうとすることが、一緒であれば、どんどん活用していくことが私たちに求められることだろうし、この計画にも入れ込んでいく大事な視点だと思う。</p> <p>この評価シートを提案したときに前向きに評価してくれたのはインフラ系の部署であった。ソフト系の部署とうまく連動していきたいと思っている。</p>
坂井委員	<p>この評価シートのフォーマットについて、案として承認して欲しいとのことだが、該当課の中に外部団体を入れるのは違うと思う。少なくとも、その事業を支援する団体と担当課は別に分けて欲しい。</p>
高橋委員	<p>外部団体の担当職員に事前に説明して欲しい。自分が会議所内で話をする際に年度方針の中に組み込むこともできる。</p>
会長	<p>このままこの進捗管理シートを承認するというよりも、さらにより良いものを目指して今後改訂していくということを前提での承認ということでよいか。</p>
	<p>(異議なし)</p>
会長	<p>では、今年度の各施策の取組みについて、関係部署等と連携して、進めてもらいたいと思う。また、評価時には、どの程度達成できたか、という点にも注目したい。</p> <p>委員の皆様におかれましても、各施策の取組内容について、注視いただきますようお願いしたい。</p>

(3) その他

資料5について事務局より説明

3 閉会